

第5回 インターカレッジ・ネゴシエーション・コンペティション 学生アンケート集計

(「第5回インターカレッジ・ネゴシエーション・コンペティション学生アンケート」より抜粋)

作成年月日:2006年12月28日

作成者:交渉教育支援センター

アンケート実施年月日:2006年12月3日

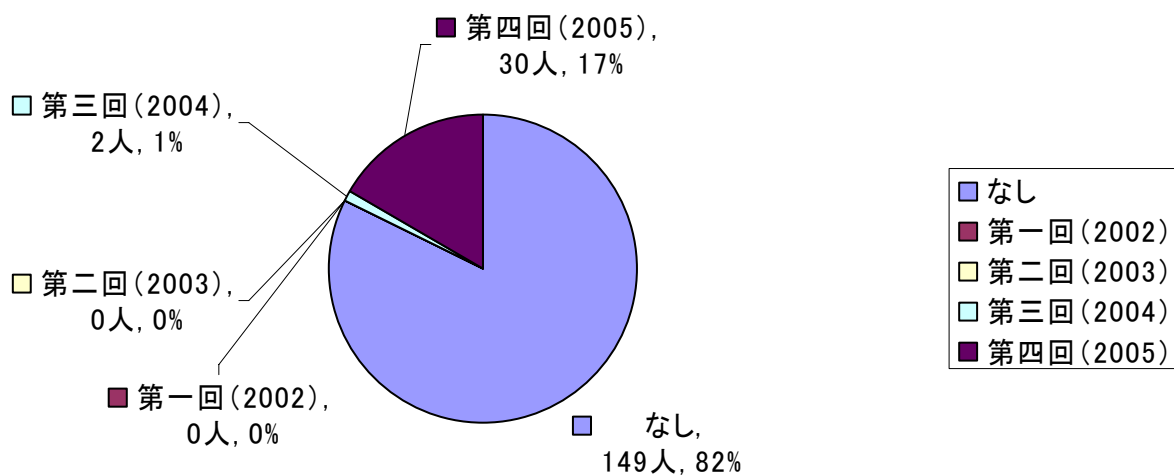
回答枚数:185枚

回答対象大学名:(日本語チーム:110名、英語チーム71名(うち記入なし4名))

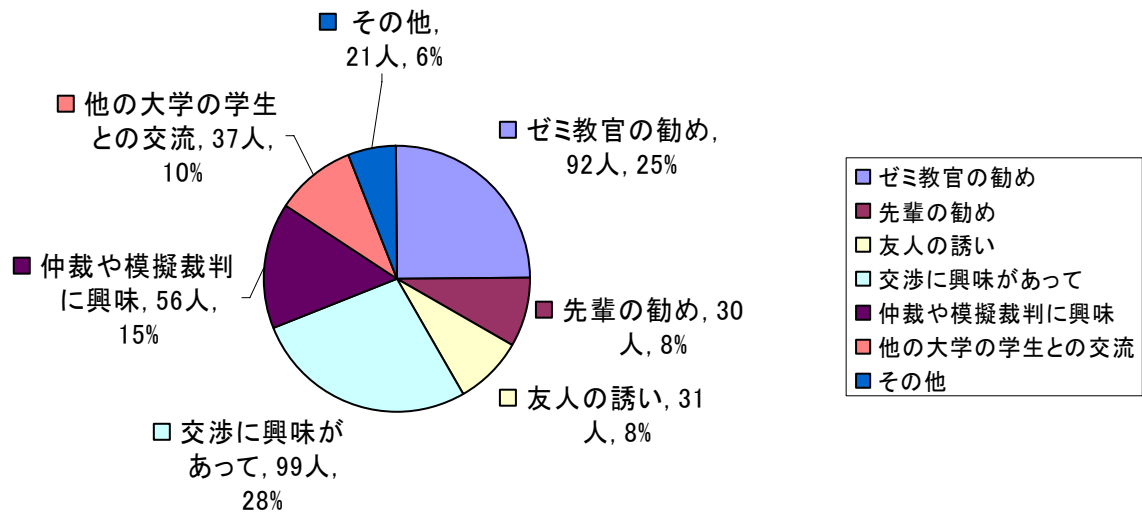
東京大学、京都大学、大阪大学、九州大学、北海道大学、名古屋大学、中央大学、同志社大学、早稲田大学、慶応義塾大学、上智大学、一橋大学、東北大学、学習院大学、チームオーストラリア(オーストラリア国立大学・シドニー大学)

(15校、約220名)

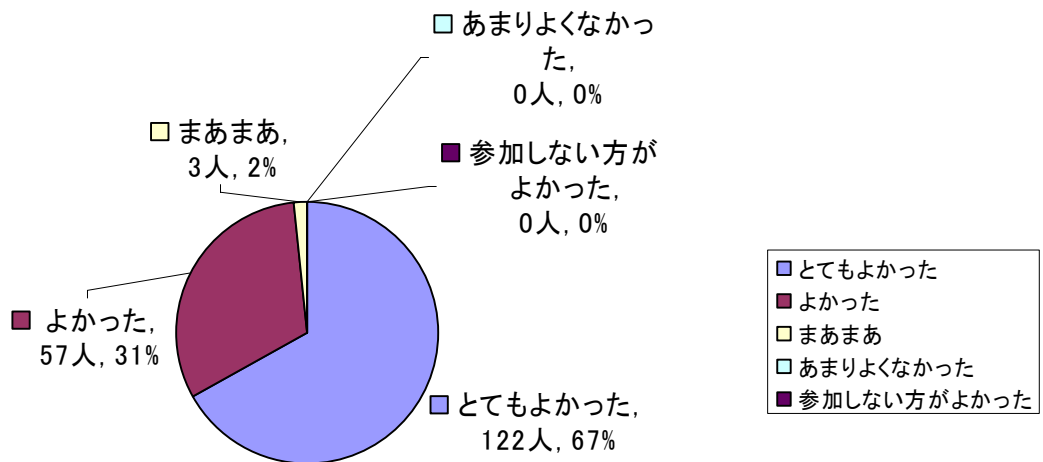
Q1. このコンペへの参加経験



Q 2. 参加動機：あなたが本コンペティションに参加した動機をお聞かせください。



Q 3. 本コンペティションに参加してよかったと思いますか？



【コメント】

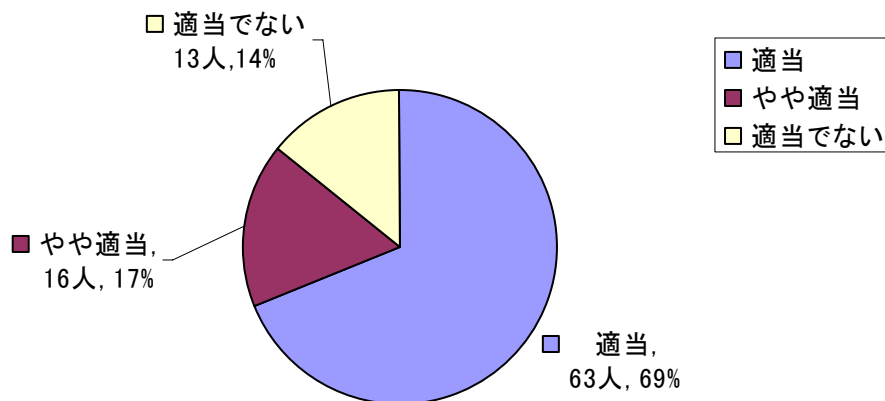
(参加してよかった理由)

- ・ 普段のクラスではできない体験ができた。
- ・ 良い友人、チームメイトを得られた。他大学と交流できてよかった。
- ・ とても勉強になった。
- ・ 実務的な経験ができてよかった。
- ・ 審査員や実務の方の話を聞いてよかった。
- ・ 充実した日々を過ごすことができた。準備段階で成長できた。久しぶりに熱くなった。

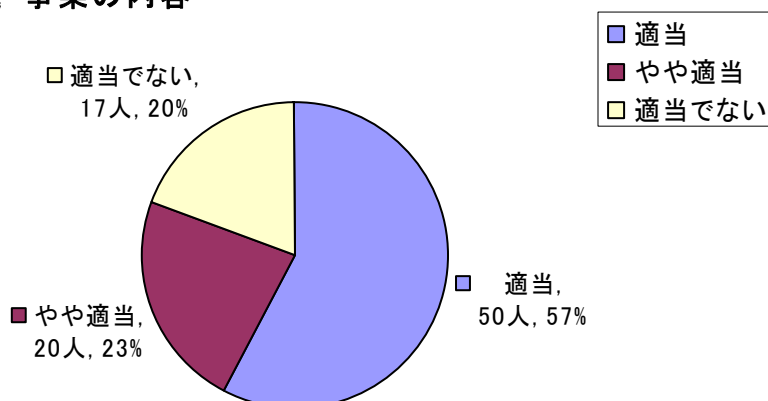
- ・ 話すことの難しさ、説得することの難しさを学んだ。
- ・ 論理的思考力を学べた。
- ・ とても楽しかった。
- ・ 達成感が得られた。
- ・ 自分の意見を論理的に相手に伝えることを実践の中で学べた。
- ・ 仲裁・交渉の難しさ面白さを知ることができて大変良い勉強になった。
- ・ 法学部の講義だけでは絶対に学べない貴重な経験ができた。
- ・ 英語での交渉の場は非常に貴重であった。

Q 4. 課題問題は適切だったと思いますか。①難易度、②事案の内容、③秘密情報についての評価をお聞かせ下さい。

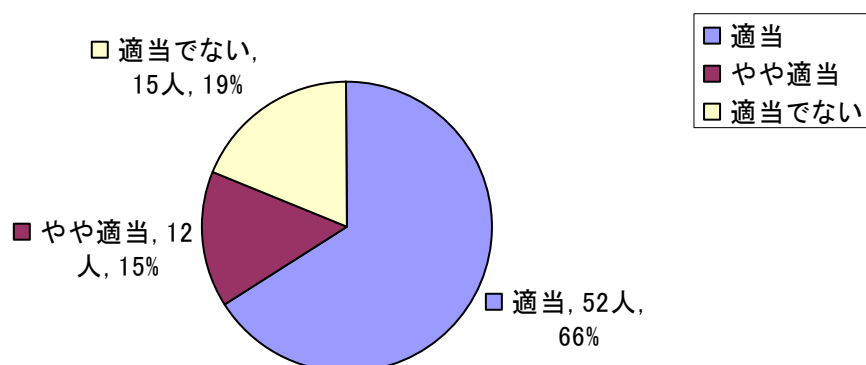
難易度



課題問題・事案の内容



秘密情報



【コメント】

- ・ 适当。
- ・ 難しかったが、参加者のレベルからすると、これくらいのは求められているのだと思う。
- ・ 読めば読むほど新しい論点が出てくる難しい問題であった。
- ・ 問題の改訂が多かった。
- ・ 10月初旬に問題を公表して欲しい。
- ・ ニュースレターが少ないほうがよい。発行時期を前もって決めておくべき。
- ・ ニュースレターで度々問題の変更があることは避けて欲しい。
- ・ ニュースレターの日本語と英語の意味が微妙に違った。
- ・ 質問期間をもっと長く取って欲しい。その結果、最終的な事実確定が遅くなっても一週間前くらいまでならば構わない。
- ・ もっと多くの質問に答えて欲しかった。
- ・ レベルは丁度よかった。難しかったがよかった。
- ・ 仲裁が非常に難しかった。交渉が難しかった。
- ・ 事実に関する情報が不足していると感じた。事案の内容をより詳しく知りたかった。
- ・ 日本語の部については契約書も日本語にして欲しい。
- ・ 細部で重要な情報が欠けていた。
- ・ 数字のミスが多かった。
- ・ タイムリーな内容でよかった。
- ・ 仲裁がレッド社に不利であった。⇔レッド社にあまりに有利であった。
- ・ UNIDROIT2004 を使うべき
- ・ 交渉の問題量が多すぎ
- ・ 交渉について、事前にお互いの意思を確認する手段があるべき。
- ・ 秘密情報から社長の意思、達成しなければならない部分が読み取りにくい。

- ・ 秘密情報の使い方が分からなかった。
- ・ 秘密情報の最終版が欲しい。
- ・ 大会終了後、相手方チームの秘密情報も公開して欲しい。

Q 5. 本コンペティションの試合規則について、改善して欲しい点がありますか？（事前メモの提出、事案についての質問受付など）

【コメント】

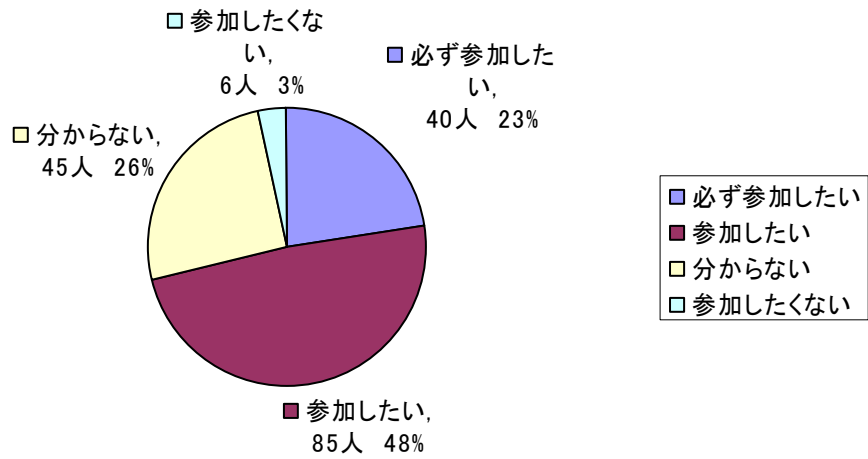
- ・ 問題を早く公表して欲しい。
- ・ 規則をもっとクリアーに書いて欲しい。
- ・ 質問受付期限を伸ばして欲しい。質問を送ったのに回答してもらえない。
- ・ 減点が大きすぎるのではないか。
- ・ 規則を、仲裁や交渉の進め方についての記載も含め、もう少し詳細かつ明確にすべきではないか。
- ・ 準備書面の字数上限を拡大して欲しい。
- ・ 申立人が先に準備書面を提出すべきではないか。

Q 6. 審査の仕方や審査項目、審査内容、表彰の方法についてご意見があればお書き下さい。改善してほしい点がありますか？（審査基準、配点、審査員の数・質などについても含む）

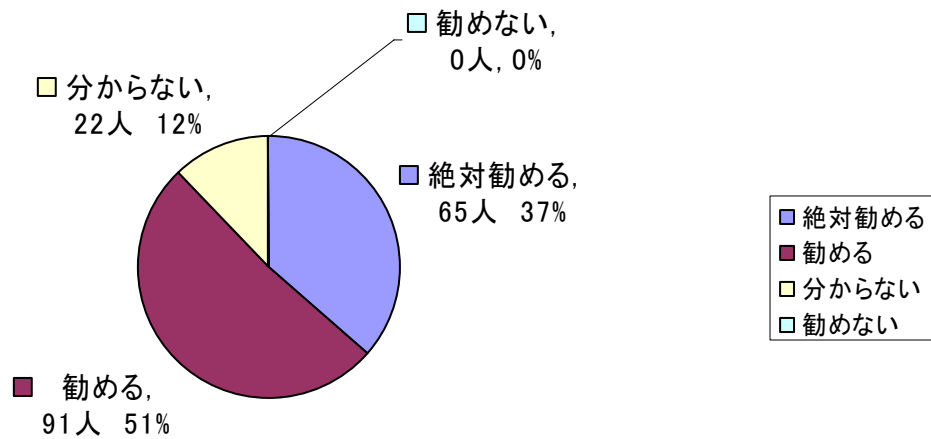
【コメント】

- ・ 素晴らしい審査員に見てもらえる良い機会だった。
- ・ 審査員のアドバイス、フィードバックがとても勉強になった。
- ・ 仲裁人の仲裁方法にばらつきがある。
- ・ チーム別の評価も知りたい。
- ・ 審査員間の基準の共有がどこまで実効的になされているのか知りたい。
- ・ 審査員や対戦相手によって結果が左右されてしまう。
- ・ 審査員の構成(実務家、研究者の比率)をバランスよくして欲しい。
- ・ フィードバックをして欲しい。
- ・ 統一的な審査基準があるとよい。
- ・ 審査員が遅れてきた。

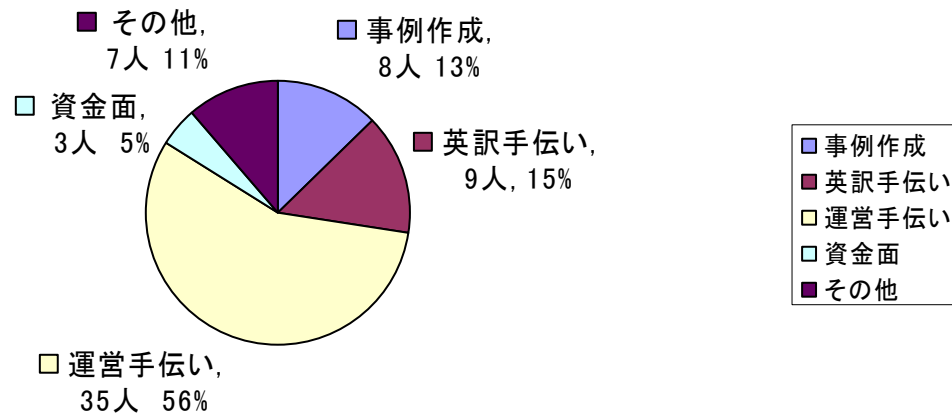
Q7-1. あなたは、可能であれば来年も参加したいと思いますか？



Q7-2. 友人や後輩に参加を勧めますか？



Q8. あなたは、本コンペティションの組織運営等に、将来的に関わっていきたいと考えますか？



Q9. その他、感じたこと、来年以降に向けて改善して欲しい点などご自由にお書き下さい。

【コメント】

- ・ 事前に教室をセッティングして欲しい。
- ・ 交渉の待合室を用意してほしい。
- ・ 閉会式をもう少し短くして欲しい。
- ・ もう少し学生の交流の時間を欲しい。
- ・ 教室の配置がわかりにくい。建物内での移動を減らして欲しい。
- ・ 懇親会を二日目にして欲しい。

以上